
まいわーど

大澤豊

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

まいわーるど

【Nコード】

N9885X

【作者名】

大澤豊

【あらすじ】

自分の世界、自分の時間を持っている人への憧れの話。

「自分の時間を持っている人って素敵だよな」

有希が目を細めコーヒーカップに口を付けた。「何があっても、自分のペースを絶対に崩さない人」

「うん」

私も相槌を打つ。

その人はきつと、たとえ何があっても自分を壊さない人だ。

「強い人だね」

私が笑うと有希も頷く。

「そうそう、絶対に流されないし、ストレスを感じない人」

「すごいよなあ」

私はため息をついた。有希は微笑み、コーヒーカップを皿に置いた。

「きつと自分に自信があるんじゃない？」

なるほど、と私は目を見開く。「不安がないから、周りに流されな
いんだね」

本当に素敵な人。

私もそんな人になれるかな。

「まずは自分磨きじゃない？」

と、急に有希が真面目な顔で言ったので、私はどきり、とした。

「うん、そうだね」

「ほら、あそこの席に座ってる子、いつも一人で来るんだよ」

高橋さんがカップを拭きながら、俺を振り返る。

「なんか、店内結構うるさいのに、自分の世界って感じっすね」

「すっげー集中してるから、こないだ俺が商品出しても気付かなくてさ」

「まじすか」

「隣りにコーヒー置かれたの気付かなくて、肘でテーブルからカッ
プ落つこととして割った」

「うわ」

「あそこまでいくと尊敬するわ、俺」

「ガチで自分の世界っすねー」

「有希、そろそろ帰ろう」

私は立ち上がってPCを閉じ、手提げ鞆にしまつと、自動ドアへ向
かった。

途中、レジ前で高橋、渡辺、と書かれた名札のバイト2人が「あり
がとうございましたー」と機械的に頭を下げた。そのうち渡辺の方
がチラリとこちらを見たような気がした。

「有希はもうちょっと強気なキャラがいいかなあ」

私は喫茶店から出るなりぼんやり空を見上げた。

「うん、今のままじゃ、私のキャラが立ってないかもねー」

有希の声が手提げ鞆から聞こえてきた。

「メ切まであと2週間しかないよ」

「話の大筋は出来てるんでしょ」

「まあね。あとは、有希のキャラをはつきりさせて、次の展開をも
っと具体的にしなきゃ」

「がんばー」

有希の小さなエールを感じながら、私は駅へと歩き出した。そして、
「私も自分の世界、持ってるのかも」

今さら、ふと思った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9885x/>

まいわーど

2011年10月28日11時07分発行